

自己点検・評価表

※ この自己点検・評価表では、「優良」を評価4、「適合」を評価3としている。

実施日： 令和 6年 7月 30日

学校名： 中央動物看護専門学校

1. 学校の教育目標

- ・建学精神
人と動物の絆
- ・教育目標
動物福祉の精神に立ち動物を慈しむ強い心を持つ
失敗から学ぶ心と方法を知る
スペシャリストに必要な知識と技能を身につける
豊かな人間性とビジネスマナーを兼ね備える

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

専門学校を取り巻く環境は大きく変化しており、職業教育を担う役割の学校として以前にも増して期待を寄せられようになっている。また、少子化の影響による学生数の減少は学校経営をも揺るがせかねない状況でもある。そこで、教職員が今の変化の激しい社会について、自ら調査研究し業界の動向を良く知り、そのことを教育の現場に生かしていくことが重要になる。その結果、教育の質を向上させ、魅力ある学校づくりが募集につながることを意識を持って業務に取り組んでいく。

重点目標

- ・退学率 1年次 5%以内 2年次 1%以内 3年次 0%
- ・就職 2024年12月末までに100%
- ・資格 愛玩動物看護師国家資格 合格率100% 愛玩動物飼養管理士2級 合格率100%

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 1 教育理念・目標 | | 優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1 | | | | |
|-----------|---|--|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 2 | 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 1 | 3 | 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 1 | 4 | 学校における職業教育の特色は明確になっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 5 | 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

1-2,1-3教育課程編成委員会等で動物業界の現状と学校教育のすり合わせを行っているが、引き続き業界研究が求められる。

② 今後の改善方策

学生のみならず職員も業界研究をする場を設け、内部共有の後、教育への反映を行う。

| 2 学校運営 | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | | |
|--------|----|---|---|---|---|---|
| 2 | 1 | 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 2 | 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 3 | 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 4 | 目的等に沿った事業計画が策定されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2 | 5 | 事業計画に沿った運営方針が策定されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2 | 6 | 人事、給与に関する制度は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 7 | 専任教員は適正に配置されているか(専任教員や非常勤講師の過当たりの担当コマ数などの講義・実習負担は妥当であるか) | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2 | 8 | 教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2 | 9 | 業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組みができているか(苦情及び要請への対応を含む) | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2 | 10 | 教育活動に関する情報公開が適切になされているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 2 | 11 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 12 | 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 13 | 学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

2-7 専任教員及び外部講師の増員は達成したが、教員の適正配置と教育が今後の課題となる。

2-8 動物看護学科については、外部講師との情報共有に関して工夫が必要である。

② 今後の改善方策

2-7 教員の業務進捗状況を把握し、適正に管理を行う。

2-8 外部講師との打ち合わせを設定して、情報共有の場を設ける。

| 3 教育活動 | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | | |
|--------|----|--|---|---|---|---|
| 3 | 1 | 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 2 | 自主学習を含む学習時間・学習方法として、カリキュラムの目的や要件に対応し、学生の生活時間や学習時間に配慮した設計がなされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 3 | 学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 4 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3 | 5 | 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3 | 6 | 専門分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 7 | 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 3 | 8 | 講義および実習に関するシラバスは作成されているか (学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 9 | シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 10 | 専門分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 11 | シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に配布され、授業で有効活用されているか(あるいはホームページなどで公開されているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 12 | 学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 13 | 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか (第三者による授業評価を行っているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 3 | 14 | 学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定され、個人情報保護への配慮がされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

3-7 資格取得について、個々の教員が対策を実施しているが、体系的な整備が今後の課題。

② 今後の改善方策

3-7 資格取得に向けた計画を作成し、検定終了後は作成した計画に対する振り返りを行う。

| 4 学修成果 | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | | |
|--------|----|--|---|---|---|---|
| 4 | 1 | 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 2 | 就職率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 3 | 資格取得率の向上が図られているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 4 | 4 | 退学率の低減が図られているか (学生の進級率と卒業率はどうか) | 4 | 3 | ② | 1 |
| 4 | 5 | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 6 | 評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 4 | 7 | 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 8 | 成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 4 | 9 | ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 4 | 10 | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

4-4 1年次の退学者が予想以上に多い結果となってしまった。

② 今後の改善方策

4-4 退学の可能性がある学生に対して、早めのアプローチを実施。保護者へ情報共有する機会を増やす。

4-8 成績を管理するシステム変更について検討されている。

| 5 学生支援 | | 優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1 | | | | |
|--------|----|---|---|---|---|---|
| 5 | 1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか (またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか) | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5 | 2 | 学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 3 | 保護者と適切に連携しているか(保護者のニーズを把握しているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 4 | 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5 | 5 | 卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5 | 6 | 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 7 | 奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 8 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 9 | 授業についてこられない学生に対して、リメディアル教育や他コースの紹介などの支援策を実施しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 5 | 10 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 11 | 学生の生活環境への支援体制はあるか (学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 12 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

5-4 社会人からの問い合わせに対してオンラインや対面に対応しているが、今後更なる入学者数増に繋げる。

5-9 授業についてこられない学生への個別サポートは実施しているが、カリキュラム上、他学科への編入が難しい。

② 今後の改善方策

5-4 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているかについて、社会人入試制度があるが、利用者を増やす策としてホームページへの掲載やチラシの利用などわかりやすく表記し、外部へのさらなる周知をしていく。

| 6 教育環境 | | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--------|---|--|-------------------------|---|---|---|
| 6 | 1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか (講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか) | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 6 | 2 | カリキュラム上必要となる実習に用いる器材及びソフトウェア等を使用できる実習環境が整っているか。また必要な数のライセンスが準備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 3 | 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 4 | 実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 5 | 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 6 | 防災に対する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 6 | 7 | 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

概ね達成はしているが、今後更なる調査及び改善が必要と考える。

② 今後の改善方策

各施設の設備強化を検討。

③ 特記事項

| 7 学生の受入れ募集 | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 1 | 学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学時に誓約書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 2 | 履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 3 | 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 4 | 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 5 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 6 | 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 7 | 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか | 4 | 3 | ② | 1 |
| 7 | 8 | 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 7 | 9 | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

7-7 入学者の増加に伴い、学力の不足や障がいを抱えた学生が見られるようになったが、まだ充分対応できていない。

② 今後の改善方策

7-7 既に判明している学生については、サポート体制を確立させる。また、日々学生の様子を確認し、気になる言動や行動が見られた際には早めの対応を行う。

| 8 教育の内部質保証システム | | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------------|----|--|-------------------------|---|---|---|
| 8 | 1 | 学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 2 | 適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容やカリキュラムを評価しているかまたその評価方法、手段、スケジュールは適切か) | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 8 | 3 | 教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 8 | 4 | 教員及び職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 8 | 5 | 教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 8 | 6 | 教職員の仕事に対する意欲や満足度について聞き取りを行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 7 | 専門分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 8 | 専門分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 9 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 10 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 8 | 11 | 文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 8 | 12 | 自己点検・評価結果を公開しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

① 課題

教育の内部質保証システムについては、概ね達成しているが、各項目についてより徹底した管理が必要である。

② 今後の改善方策

学校マネジメントと教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会などを体系的・計画的に行うことで、PDCAが回るようにしてマネジメントの有効性を図っていく。問題点については判明次第、迅速に取り組み改善していくようにする。

| 9 財務 | | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|------|---|--------------------------|-------------------------|---|---|---|
| 9 | 1 | 財務について会計監査が適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 9 | 2 | 財務情報公開の体制整備はできているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 9 | 3 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 9 | 4 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

① 課題

中長期的に財政基盤を支えるため、入学者数の安定確保をいかに図るかが重要となる。

② 今後の改善方策

本質的には「学生の夢(資格・検定と就職)を実現する」学校になることが募集力の決め手となると考え、教育と就職指導の質的向上を今後も目指していく。

③ 特記事項

外部機関による会計監査も定期的に適正に行われており、今後も継続して行う。

| 10 社会貢献・地域貢献 | | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--------------|---|---|-------------------------|---|---|---|
| 10 | 1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 10 | 2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 10 | 3 | 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか | 4 | 3 | ② | 1 |

① 課題

10-3 地域に対する公開講座が少ない。

② 今後の改善方策

10-3 本校の教育資源を十分に活用して、社会貢献・地域貢献に参加できるよう、呼びかけや運用整備を進めたい。

③ 特記事項

地域貢献のため、地域清掃やボランティア活動の参加など積極的に進めている。

| 11 国際交流(必要に応じて) | | | 優良…4、適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|-----------------|---|-------------------------------------|-------------------------|---|---|---|
| 11 | 1 | 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 | 2 | 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 | 3 | 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 | 4 | 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 |

① 課題

② 今後の改善方策